

(様式 1) 実施報告書-プログラムB

団体名	幸田町
-----	-----

1. 事業の種別	
該当の チェック	種別
○	(1) 子ども向け日本語教育事業（対象外：プレクラス、日本語初期指導教室）
	(2) 多文化子育てサロン事業
	(3) 初期日本語教育事業（対象外：子ども向け日本語初期指導教室）
	(4) 地域の実態調査
	(5) 地域日本語教育の推進計画策定又は改訂
	(6) その他
2. 事業の期間	令和2年4月1日から令和3年2月26日まで
3. 事業実施前の現状と課題	
<p>町では、年々、外国人人口が増加している。しかし、幸田町や幸田町国際交流協会での事業は成人向けが多い（「まちを知るツアー」や「外国籍町民会議」など）ため、外国籍の子どもやその保護者に対するケアが少なく、不安を抱えている方も多いことが課題である。</p>	
4. 事業の目的	
<p>外国につながるのある子どもが、戸惑うことなく今後の生活に早期に対応できるように、初期の日本語指導を行う。</p>	

5. 実施結果	
事業の詳細（種別(1)(2)(3)）	
活動1	<p>【種別及び事業名称】 幸田町地域日本語教育推進事業</p> <p>【目標】 外国につながるのある子どもが、戸惑うことなく今後の生活に早期に対応できるように、初期の日本語指導を行う。</p> <p>【実施回数】 4回（1回2時間）</p> <p>【受講者数】 7人（7人×1か所）</p> <p>【実施場所】 幸田町中央公民館ホール</p> <p>【受講者募集方法】 広報こうた、ホームページに掲載、町内保育園にチラシを配布</p> <p>【内容】 日本語指導者により、50音表を使用してひらがなを学び、挨拶、色、数字、身体の言い方、書き順など初期の日本語指導を実施する。</p> <p>【開始した月】 1月</p> <p>【講師】 7人（うち日本語教師2名）</p>

	<p>【関係機関との連携】 無</p> <p>標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無</p>
6. 効果	
<p>(1) 効果</p> <p>① 定量評価</p> <p>-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施した日本語教育人材に対する研修：(0) 回 (0 箇所) 当年度 (0) 回 (0 箇所) ・実施した日本語教室：前年度 (0) 回 (0 箇所) 当年度 (4) 回 (1 箇所) <p>② 定性評価</p> <p>(i) 連携機関の広がりについて</p> <p>-</p> <p>(ii) 新たな連携機関と連携した内容</p> <p>-</p> <p>(iii) どのような体制を構築できたか</p> <p>-</p> <p>(iv) 事業実施に当たっての周辺自治体や域内の関係者等へ周知・広報及び事業成果の地域への発信について</p> <p>事業実施の前に、庁内の子ども課（保育園等所管）と学校教育課と打合せを前年度に 1 回、今年度に 1 回実施した。そこで、子ども課には、保育園を通してチラシの配布を依頼。また、実施中の子どもの様子を学校教育課へ情報提供する旨を話し合った。</p>	
7. 課題と今後の展望	
<p>(1) 課題と困難な状況への対応方法</p> <p>町内の保育園に通っている子どもは保育士を通してなど、参加を促す案内ができたが、保育園などに通っていない子どもに対しての参加の呼びかけが困難であった。</p> <p>(2) 今後の展望</p> <p>今年度は、初年度であったため対象を 5 歳児のみ、回数を 4 回としたが、保護者からは継続的に続けてほしい旨の意見も見られた。</p>	